



【写真】マイヤーレモンを収穫する神東小学校の子供たちと神東ファームの滝山さん（右上）、三谷さん（左上）

地域と共に学び、共に育つ

地域住民や学校が連携し、地域全体で子供たちを育てる地域連携教育という取り組みがあります。今回は由宇地域で行われている取り組みについて紹介します。

園生涯学習課 ☎(29)5210

■コミュニティ・スクールとは

保護者や地域住民が学校運営や学校運営に必要な支援に関して協議することにより、より質の高い教育を提供するための制度。

■地域協育ネットとは

おおむね中学校区をひとまとまりとし、学校や保護者、地域の人々が連携し、子供たちの育ちや学びを見守り、支援するための仕組み。

近年、子供たちを取り巻く環境が大きく変化する中、子供たちの生きる力を育むため、学校と地域が連携・協働して教育に取り組むことの重要性が指摘されています。

市では、コミュニティ・スクールが核となり、地域協育ネットの仕組みを生かして、社会全体で子供たちの学びや育ちを見守り、支援する取り組みを推進しています。この取り組みを充実させることで、子供たちの生きる力や地域への愛着が育まれると共に、地域教育力の向上、地域の活性化につながることを期待されています。

コロナ禍で少人数のグループに別れての授業になりましたが、その分一人一人とのコミュニケーションが増えたことは良かったですね。また活動を始めてから、学校行事やイベントで顔見知りになった子供たちが、私を見掛けて声を掛けてくれることもあり、子供たちとの距離が近付いてきたことをうれしく思っています。

結愛ネット（由宇地域協育ネット）からの依頼で、由宇シニアクラブのメンバーと一緒に、小・中学校の授業の中で竹とんぼやしめ縄作りなどのものづくりを教えています。最近では由宇中学校の文化祭で展示するタペストリーを生徒と一緒に製作しました。私を含めクラブのメンバーは活動をとっても楽しみにしています。



由宇シニアクラブ会長
藤井 昭久さん

子供たちと接していると

元気をもらえます

子供たちだけではなく

地域も共に育っていくんです



由宇地域 地域学校協働活動推進員
藤重 勇さん

私が推進員の活動を始めたのは64歳の時です。中学校の教員を退職後も部活指導などで、由宇地域や子供たちと関わってきたことから結愛ネットより依頼を受けました。

地域と学校との連携を進めるためにまず始めたのは情報の共有でした。地域の人に学校や子供たちのことを知ってもらうことがつながり作りための第一歩だと考えたからです。そのために結愛ネット独自のメール配信システムを作って、子供の見守り情報や町内のイベント情報などさまざまなお知らせをするようにしました。そうした情報発信を続けるうちに、少しずつ地域の人々の理解や協力を得られるようになったと実感しています。

そして今取り組んでいるのは地域のボランティアを増やすことです。参加者が増えることで活動の幅が広がり、地域と学校とのつながりがさらに深まると思います。

育っていくのは子供たちだけではなく、地域の人がつながり、関わり合っていくことで地域全体が成長していくと思います。その成長の輪に加わることができるのは私自身にとっても大きな喜びです。これからも楽しみながら活動を続けていきたいです。



1. 昼休みに地域の人と一緒に自主学習を行う由宇小の「もくもくルーム」
2. 由西小の児童にスナッグゴルフを教える地域の人
3. 由宇中の地域学習では生徒自ら場所を選び、地元の歴史について学ぶ
4. 結愛ネットではこのスローガンを掲げ、地域連携教育に取り組んでいる



神東小学校6年生
福森 彩里さん

自分の住む地域に、こんなに素敵なものがあることを知りました

総合的な学習の時間で、1年間を通してマイヤーレモンの栽培を体験しました。神東ファームの方に摘果や施肥のやり方を丁寧に教えていただきました。みんなで成長を見守ったレモンがたくさん収穫でき、とてもうれしかったです。地元の特産品がどうやってできるのかを学び、より地元を身近に感じるようになりました。